

授業科目	公衆衛生看護管理論					実務家教員担当科目	○
単位	2	履修	選択	開講年次	4	開講時期	後期
担当教員	眞崎 直子						
授業概要	授業では、県保健師として精神保健、感染症、災害等健康危機管理業務の経験がある実務家教員と保健師の実践活動から保健師に求められる看護管理機能及び健康危機管理・リスクマネジメントについて、意見交換しながら理解を深め、学生自らが役割を創出していく力を期待します。						
授業形態				授業方法	アクティブラーニング ディスカッション		

学生が達成すべき行動目標

標準的レベル	1. 保健師の実践活動を看護管理機能の側面から説明することができる。(DP2-1)
	2. 看護管理機能を生かし、効果的かつ効率的な実践活動を説明することができる。(DP2-1、DP3-2、DP4-2)
	3. 看護管理機能を果たすために、住民及び他職種と協働していく意義を説明することができる。(DP3-2、DP4-2)
	4. 公衆衛生看護の視点を生かし、健康危機管理・リスクマネジメントの実践活動を検討できる。(DP2-1、DP3-2、DP4-1、DP4-2、DP4-3)
	5. 保健師の実践活動を通して、住民の健康問題に真摯に向き合う姿勢を説明することができる。(DP4-1、DP4-3)
	一つの実践事例を通して、保健師に求められる看護管理機能及び健康危機管理の発展的検討を説明することができる。

理想的レベル	複数の実践事例について、保健師に求められる看護管理機能及び健康危機管理の発展的検討ができる。
--------	--

評価方法・評価割合

評価方法	評価割合(数値)	備考
試験	80%	
小テスト	0%	
レポート	0%	
発表(口頭、プレゼンテーション)	20%	
レポート外の提出物	0%	
その他	0%	

カリキュラムマップ(該当DP)・ナンバリング

DP1	-	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	NU31708J
-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	-----	---	--------	----------

学習課題(予習・復習)

1回の目安時間(時間)

予習：講義内容に対して、地域の事象を整理しておく。	4
復習：講義で学修した管理機能について整理しておく。	

授業計画

第1回	保健師の実践活動における管理機能について(眞崎)
第2回	保健師の実践活動の過程と管理機能について(眞崎)

第 3 回	行政看護領域における事例管理（眞崎）
第 4 回	行政看護領域における事例管理（眞崎）
第 5 回	行政看護領域における地区管理・事業運営管理（眞崎）：第 5 回と第 6 回は連続して行う
第 6 回	行政看護領域における地区管理・事業運営管理（眞崎）
第 7 回	行政看護領域における組織運営管理（眞崎）
第 8 回	行政看護領域における予算編成・予算執行管理（眞崎）
第 9 回	行政看護領域における人材育成（眞崎）
第 10 回	行政看護領域における情報管理（眞崎）
第 11 回	健康危機管理及びリスクマネジメントの目的及び方法（眞崎）
第 12 回	保健活動におけるリスクマネジメントの実際－感染症－（眞崎）
第 13 回	保健活動におけるリスクマネジメントの実際－災害（地震）－（眞崎）
第 14 回	保健活動におけるリスクマネジメントの実際－災害（水害）－（眞崎）
第 15 回	実践活動における課題を看護管理機能を生かし、どのように解決していくのか検討する。 その後、試験を実施する。（眞崎）
テキスト	最新保健師講座 1 公衆衛生看護学概論 医学書院 これまで提示された公衆衛生関連教科書を使用します。講義前中後に紹介します。
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	講義中、紹介します。
課題に対するフィードバックの方法	課題に対して、授業時、意見交換しながらフィードバックします。
学生へのメッセージ・コメント	『公衆衛生看護関係科目』の知識が必要です。 公衆衛生看護学実習の目標を全て達成した上で、本講義に臨むことを期待します。